

式 辞

春の気配もととのうこの佳き日、宇都宮大学は、学部 1039 名、大学院 426 名、総勢、1465 名の皆さんを、あらたにお迎えすることになりました。皆さん、ようこそ宇都宮大学にいらっしゃいました。宇都宮大学を代表し、お一人おひとりを、心から歓迎いたします。また、これまで温かく見守り、支えてこられたご家族ならびに関係の皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

また、この中には 58 名の留学生の方々もおられます。慣れない環境での修学には難しさもありますが、頑張っていたきたいと思えます。

宇都宮大学は、全ての学生に対して、等しく、支え、応援します。皆さんには、有意義で実りのある大学生活、大学院生活を送っていただきたいと思っています。

さて、本日、入学された方々は高校生時代や学部生時代など、新型コロナウイルス感染症の影響で、思い描いていたような高校時代、大学時代を過ごせなかった方々も多いのではないかと思います。

現在は、5 類感染症への移行など、新型コロナウイルス感染症は一定の落ち着きを見せており、この入学式も、5 年ぶりに保護者の方々もご出席いただける運びとなりました。これから、十分に大学生活、大学院生活を送っていただければ、と思います。

一方、本年の元日に発生した能登半島地震では、多くの方が犠牲となり、現地では今でも避難生活を余儀なくされている方々がおられます。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。本日、ご入学された方の中にも、ご家族や関係者を含め、被災された方々がおられると存じます。災害を乗り越えてご入学を果たされたことに、敬意を表します。

また、4 月 3 日に台湾東部で発生した地震においても、大きな被害が出ているとの報に接しています。本学では、これまで、研究者や学生、大学関係者等をはじめ、台湾の皆様と、教育や研究等、様々な分野で交流を進めてきており、たいへん心を痛めています。お亡くなりになられた方々とそのご家族、ご関係者に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さらに、世界的な情勢も、ロシアによるウクライナ侵攻やガザ地区での戦闘など、平穏なものとは言い難い状況です。

そのような中で、大学は、全学をあげて、安全、安心な学びの場の提供に務めます。必要なことがあれば、いつでも大学にお申し出ください。できる限りのサポートをいたします。

宇都宮大学は、150 年の歴史と伝統を持ち、そのルーツは明治から大正にかけて、栃木県に設置された二つの教育機関である、栃木師範学校と宇都宮高等農林学校にあります。それぞれ、現在の共同教育学部と農学部の前身です。その後、昭和に入り、地元からの強い要請を受けて工学部を、また、平成には国際学部と地域デザイン科学部をそれぞれ設置しました。そして、今年度から、本学 6 つ目の学部として、データサイエンス経営学部を開設しました。加えて、大学院は、地域創生科学研究科の博士前期課程および博士後期課程と教育学研究科専門職学位課程を設置しています。皆さんを含め約 5 千名の学生が学び、約 320 名の教員と約 200 名の事務職員が皆さんを支えており、これまでに約 7 万人の学生が本学を巣立ち、社会の第一線で活躍しています。データサイエンス経営学部に入学者は 1 期生ということで、これから、新たな歴史を築いていっていただきたい、と思えますし、地域デザイン科学部、国際学部、共同教育学部、工学部、農学部、そして地域創生科学研究科、教育学研究科に入学者の方々も、先輩方の築かれた歴史を受け継ぎ、さらに発展させていっていただきたい

い、と思います。

宇都宮大学は、栃木県唯一の国立大学法人として、地域の知の拠点であり、中核となるべく、教育と研究を推進しています。「地域とともに学生の未来をつくり、学生とともに地域の未来をつくる」をスローガンに掲げ、学生を大切に、地域と連携する取組みを進めています。「地域」という言葉は、ともすると、何か狭い気がするかもしれません。しかし、広く世界に向かってはばたくためにも、しっかりと自分の足もと、足場を固める必要があります、地元のことをよく知ることは必要です。また、どの世界に行っても、そこには「地域」というもの、「地域」という考え方があります。「local」ではなく、「region」ということです。皆さんにとって、今後、未来へ向かって進むためにも、この「地域」というものを意識することは重要だと考えています。

ところで、皆さんは、どのような夢を持って、どのような自分の未来を想像して、宇都宮大学、宇都宮大学大学院に入学、進学されましたでしょうか。社会へ、未来へはばたくために、確固たる夢を持って入学、進学してきた人は、その夢の実現に向かって進んでください。もちろん、これから自分の夢を描こうとしている人も、しっかりと夢を描き、自分の将来の目標を定めてください。宇都宮大学は、いずれの方々に対しても、その夢の実現をサポートします。皆さんが、自分の描く道を、しっかりと進めるよう、お手伝いをします。そのために、本学では、教育プログラムの改革や教育研究環境の充実を図り、全学が一体となって提供しています。

しかし、どれだけ環境が整っていても、皆さんが、自らそれを活かさなければ、夢の実現には届きません。大学での学びには、受け身ではなく、自ら進んで掴み取っていくことが必要です。この「自ら」という姿勢は、社会に出てもいっそう必要となります。自分の夢の実現に向けて、積極的に取組んでください。

宇都宮大学では、「3C精神」というものを大切にしています。それは、「Challenge：主体的に挑戦する」、「Change：自らを変える」、さらに「Contribution：広く社会に貢献する」の3つのCです。この「3C精神」に加えて、「3Cアクション」も掲げています。これは、「Connect」「Commit」「Collaborate」の3つのCで、主体的に社会とConnect繋がり、責任を持って社会にCommit関与し、多面的に社会とCollaborate協働する、というもので、社会との繋がりを大切にしながら行動しよう、というものです。この「3C精神」と「3Cアクション」においても「自ら」という姿勢が重要です。宇都宮大学の一員となられた皆さんには、ぜひとも自分の夢の実現のために、自ら未来を切り拓く力、より良き社会づくりを担う力を養って頂きたいと思います。

さて、大学で学ぶにあたって、ご自身で決めた専門分野を極めていくことは重要です。しかし、専門分野とは異なる分野の多様な知識、知見が加わることにより、新たな発想が生まれ、より高い専門性が活かされることにもなります。多様性が叫ばれる社会、世の中に対応するためにも、専門性を深める一方で、全く関係なさそうな内容も含めた多くの分野に触れるように努めてください。絶対にどこかで役に立ちますし、繋がることを保証します。大事なことは、様々な分野のそれぞれの考え方や方法に触れ、多様で幅の広いものの見方、我々はこれを複数の目、「複眼」と呼んでおりますが、この「複眼」の視点を持ち、「複眼」をもって物事にあたることです。そうすることにより、変化に対応する柔軟さも得られ、新しいものへのチャレンジも図れることとなります。是非、複眼的な視点を身に付けてください。

ところで、学び、というものは、いわゆる授業での学びだけではありません。大切な学びの一つは、多くの人間と触れ合い、また、社会での実体験を通して、人間としての幅を広げることです。例えば、サークル活動やボランティア活動に参加し仲間や友だちをつくるなど、国内外の色々な場面で多くの

人間と出会う、これらも大切な学びです。さまざまな場所や機会人と触れ合い、議論や意見交換をし、時に感情をぶつけ合ったりすることで、自分とは異なる視点や考え方があることを知る、これも「複眼」です。このように、相手の想いを理解し、相手を尊重できる豊かな人間性を育む、コミュニケーション力の醸成を図ってください。他人を思いやる力を身に付けることが、自分も受入れられることに繋がります。

「複眼」に加えて、今日はもう一つの言葉、「共創」という言葉をお示しします。競い争う、「competition」という意味の競争ではなく、共に創り上げていく、「co-creation」という意味の「共創」です。一人ひとり、個々の存在とその意思は非常に重要で大切なものですが、皆さんは、独りで存在しているわけでも、一人で成り立っているわけでもありません。多様で多彩な「他」の存在とともに、色々な場面で共に行う、ともに進んでいく、ということも重要です。多様な社会においては、「複眼」を持って、そして、「共創」して対応することが求められます。これから大学生生活を送る上で、この「共創」と「複眼」というキーワードを心に留めておいてください。

最後に、皆さんは、栃木県や宇都宮について、どの程度ご存知でしょうか。栃木県外から来られた方々も大勢おられます。在学中に、是非、栃木県や宇都宮のことを知り、楽しむ機会を持ってください。私自身も、栃木県、宇都宮に来て、20年以上経ちましたが、本当に良いところだと思っており、自信を持ってお勧めできることが数多くあります。栃木県在住の方も含めて、皆さんには、ぜひ、栃木県、宇都宮での大学生生活、大学院生活を満喫していただきたい、と思っています。

冒頭にも申し上げました通り、宇都宮大学は全学、全教職員をあげ、地域とも協力しながら、安心、安全な場の提供に務め、充実した大学生生活、大学院生活を送れるよう、皆さんをサポートします。安心して、大学を頼ってください。私も、できる限り、皆さんからの声を聞き、皆さんに話しかけたい、と思っておりますので、気軽にお声掛けください。

宇都宮大学で学び、成長された皆さんと卒業、修了を祝い合う日を楽しみに、本日の私の式辞いたします。みんなでがんばって進みましょう！

令和6年4月5日

国立大学法人宇都宮大学長

池田 宰